

モントリオールの韓人教会（Ⅱ）

松 本 誠 一

（前稿の構成）

第1章 問題の所在と方法

1. はじめに
2. モントリオール韓人社会の資料
3. 韓国人とキリスト教

第2章 モントリオール韓人連合教会の事例

1. モントリオールの韓人とキリスト教
2. モントリオールの韓人人口
3. モントリオールの韓人教会の種類
4. モントリオール韓人連合教会に見る教会組織
 - (1) 信徒の区分と世帯数・人数
 - (2) 教会の機構と役職区分（以上、前稿）

(3) 区域会

区域編成表と区域礼拝

モントリオール韓人連合教会は『嬉しい便り』という教会機関誌を発行している。その1999年2月号⁽¹⁾の末尾に「1999年度区域編成表」という小さな名簿表が掲載されている。この名簿表のもつ意味は、その表の下に続く「連合区域礼拝」と題された簡潔な記事を読むと察しがつく。記事の内容を見ると以下の通り。

「新年度初めの区域礼拝が本教会堂で行なわれました。11区域の連合礼拝として集まったこの日、新たに任命された各区域長の紹介と併せて、新たに編成された区域員を発表しました」
（原文韓国語）

先ずここで「区域礼拝」の語が見える。モントリオール韓人連合教会の信徒は、後でも詳しく扱うように、11区域に区分されている。「区域礼拝」の「区域」とは、その「区域」を指している。そして「区域」ごとに区域会が構成されている。その各区域会ごとに行われる礼拝が

本来の「区域礼拝」である。正月には特別に区域礼拝の「連合礼拝」が教会で行われ、また区域会の役員の交代、区域員の新加入・転出などに伴う区域員構成の変更が信徒間に公表される。

区域会で行われる区域礼拝の会場は主に信徒宅などである。ここでは、韓人移民教会の歴史に見える「アンバン教会」⁽²⁾（民家の居間に集う教会）という、教会の前身時の集合の模様を偲ばせる運営方式でなされる。住宅の部屋の大きさからしても、そこに集う人数はそれほど多くはなく、顔ぶれも限定的であるだけに、相互の面識・親睦も深まる。それだけうち解けた関係の中では、生活問題の解決策についての相談や、実際の解決のための相互扶助などの機能もより安定的であるだろう。

こうであれば、日曜の教会で行われる多人数による礼拝に参加するよりも、むしろ少人数の区域礼拝に参加することの意義・メリットの方が、信徒にとってより大きいということが考えられる。したがって、区域礼拝とそれを共同で行う区域会は、韓人教会ばかりでなく、モントリオール韓人社会にとっても、基礎的社会関係の場として重要な意味を持つ。

区域礼拝が行われる曜日は平日である。日曜日は教会での礼拝があるので、それを外した平日となる。モントリオールは教会の多い都市であり、日曜日には全日休む事業所も多い。しかし、商店は休日にこそより多くの客を見込めるのであるから、日曜日でも午前中だけは休んで、午後は開き、夜は通常より早く閉店するというパターンの業務時間をもつ所も少なくない。開店営業時間帯が法的に規制されているという背

景もある。

韓人の職種の中でも比較的多い「デパノ」(dépanneur：英語で corner store, コンビニ的小商店)の営業も、日曜午後だけの開店としても、午前中は前夜までに片付かなかった仕事をしたり、あるいはつかの間の休息を取ったりするために、教会に行く時間を惜しむ。したがって、日曜日でも教会に集まらない信徒も多い。

そういう働き者の信徒でも正月には休みを取る。したがって、区域礼拝の連合としての「連合礼拝」は単なる礼拝を行う機会であるだけでなく、各区域の役員の紹介や、新加入者の紹介のみならず、区域の編成替えの公表も行われるので、信徒の「総会」的な一面をもつ機会と解される。

クリスマスから正月までは一連の祝日 (Holidays) である。クリスマスに続いて、年末に「送年会」(忘年会) にも多くの信徒が教会に集まる。この期間に情報の交換・確認を集中的に重ねて、正月にさらに集ったときに教会信徒基礎組織の新体制を公表するという流れは季節的状况に適ったものと解される。韓国人だから、クリスマスよりも正月を重視しているというものではないだろう。しかし、正月に教会行事として重要なことがあるという事実は韓人移民教会の一つの特徴であると言えるかも知れない。

「区域」と世帯

新年連合礼拝の記事に続いて「1999年度区域編成表」が掲載されている。この名簿表には、一定パターンの記載法がある。

11区域について、各区域の始めに3名ずつの区域長等の役員の姓名を掲げている。その後に区域員の姓名が表示されている。区域員の表示形式は、() の付く「○○○ (○○○)」というパターンと、() の付かない「○○○」というパターンがある。

この表示パターンに見える姓名を『94-95年度モントリオール韓人住所録』⁽³⁾と照合してみると、先ずここに記載されている姓名は、韓人連合教会信徒世帯の代表者としての「おとな

たちであると解される。子どもの姓名は見えない。そして、「○○○ (○○○)」はかっこの前が夫、かっこ内が妻で、夫婦を表わす。一方、かっこの付随しない「○○○」は単身世帯か、あるいは片親と子どもから成る世帯などを表わしていると解される。

参照資料2点の内、モントリオール韓人連合教会の『嬉しい便り』の発行は1999年初、『94-95年度 モントリオール韓人住所録』の作成は1994年末で、両資料間に約4年のズレがあり、この点に注意しなくてはならないが、多くの場合、夫婦とも姓名が一致するので、以下において他の角度からの分析にも利用する。

表6 モントリオール韓人連合教会の「区域番号」別世帯数 (1999年度)

区域 番号	世 帯 数		
	夫婦	単身または片親	計
1	10	2	12
2	10	1	11
3	11	2	13
4	10	2	12
5	11	2	13
6	12	5	17
7	10	3	13
8	16	2	18
9	14	6	20
10	13	2	15
11	7	25	32
計	124	52	176

区域ごとの世帯数は、小は第2区域の11世帯から、大は第11区域の32世帯までとなっている(表6参照)。世帯数の合計については、小規模区域と大規模区域とでは3倍近い開きがある。

世帯数の夫婦組数は第1区域から第7区域までは10組から12組、第8区域は16組、第9区域は14組と多い。第11区域は総世帯数が多い割には夫婦組数が7組ともっとも少ない。ここから、第11区域に含まれる人々は、単身者が多いと推測される。また、第11区域は、ほとんどが『19

94年住所録』に姓名が見当たらないので、それ以降の newcomers が多く含まれていると考えられる。

『1994年住所録』から人口概数をあえて算出してみると、1世帯4人と仮定して、1区域当たり40数名から60数名の規模となる。第11区域は総世帯数が多いものの、上述のように単身者が多いと思われるので、他区域と比べて桁違いに総人数が多いわけでもないようだ。10数家族で、合計50人程度という編成規模は、社会の基礎的単位の規模としてほどほどであろうか。

「区域」と住所

「区域」と称しているが、各世帯の住所が実際の所、近接しているのかどうか。これも、上述の『1994年住所録』を参照してみる(表7参照)。

表7のFSAはカナダの郵便コード⁽⁴⁾6桁中の上3桁である。カナダ全域は郵便コードでおよそ70万の郵便配達区域に分けられ、FSAでは1530ほどの郵便仕分区域に分けられている。大都市ではFSAの区画数も多い。FSAの中央の数字が「0」であれば、人口密度の疎な区域を表わしている。

FSAの最初の2桁、「H1」から「H9」は概ねモンリオール島の全域を覆っている。モンリオール島はブーメランを、凹み部分を上に置いて置いた形をしている。日本の本州の形を思い浮かべて、湾を埋めて半島をなくした、ずんぐりした形を想像してもらえば良い。左枝は東西方向に、右枝は東北方向に伸びている。関東地方に相当する部分にモンリオール大都市圏の中心地区が位置する。

島の東北から西にかけて「H1」から「H9」までのコードが割り振られている。「H6」は欠号。細かく説明すると、「H7」に続く3桁目がA～G(D・Fは欠号)、N～R、V～Zは、モンリオール島の北側に寄り添うラヴァル島の範囲を覆っている。「H9C」「H9E」はビザール島に充てられている。この島はモンリオール島とラヴァル島のすぐ西側に位置している。

同じくFSAの「J3」「J4」はモンリオール島から見て、セントローレンス河本流の対岸、「サウス・ショア」に当たる。

1区・2区中の世帯が多い「H9」はモンリオール島西部、ドルヴァル空港(モンリオール国際空港)より西側に位置する。表7で、1区は「H9」に7世帯、サウス・ショアに1世帯を含んでいる。2区は「H9」に6世帯を含み、1区・2区はほぼ「モンリオール島の西部区域」とみることができる。

3区は「H4」に9世帯を含む。「H4」は島の中央よりやや西部(モンリオール市のダウンタウンより西側)に位置する。モンリオール韓人連合教会の所在地も「H4」内であるので、教会に比較的近い地域に信者が多い。「H4」には韓人連合会事務所、その他の韓人教会の多くが位置し、韓国食品店なども営業しているので、モンリオール韓人社会の中心的地域として位置付けられる。「H4B」には全体でも13世帯分布している。ここはNotre-Dame-de-Grâce(略称NDG)の一部に当たる。

「H4」の世帯が多いのは4区・5区・6区も同様である。3～6区は「モンリオール島中央よりやや西側の区」とみなせる。

7区は「H2」に4世帯、「H3」に2世帯、「H4」に3世帯、「H7」に2世帯を含む。「H2」「H3」はモンリオール島中央部、「H7」はラヴァル島に当たる。7区の世帯は比較的散在している。7区は「モンリオール島中央およびラヴァル島」とみなせる。

8区は「H1」に5世帯、「H2」に8世帯、「H4」に5世帯を含む。「H1」はモンリオール島東北部に当たる。8区の世帯も比較的散在している。「H4W」に5世帯あり、この地区(Côte-Saint-Luc)は全体でも13世帯と多い。8区は「モンリオール島中央および東北にかけての区」とみなせる。

「H4V」には全体で11世帯含まれるが、このFSAは「H4B」と「H4W」の間に位置する。したがって、「H4B」「H4V」「H4W」と連続する地帯に計35世帯が集っているこ

モンリオールの韓人教会 (Ⅱ)

表7 区域別 (1999年) ・FSA 別 (1994年) 世帯数

FSA	世帯数 計	区域番号										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
H 1 M	3								3			
H 1 W	1								1			
H 2 E	2									2		
H 2 J	3								3			
H 2 L	2								2			
H 2 T	1							1				
H 2 V	3							3				
H 2 X	1								1			
H 2 Y	1								1			
H 2 Z	1								1			
H 3 C	1						1					
H 3 E	2									1		1
H 3 K	2						1			1		
H 3 R	2							2				
H 3 X	4				1	1	1					1
H 4 A	5						5					
H 4 B	13			4	2	4	1	1		1		
H 4 G	1									1		
H 4 L	1				1							
H 4 R	1					1						
H 4 V	11			2	2	3	2	1				1
H 4 W	13			1	4	1		1	5		1	
H 4 X	2			2								
H 7 W	3							2		1		
H 8 M	1									1		
H 8 P	3									3		
H 8 R	4		1							2		1
H 8 T	1									1		
H 9 J	2		2									
H 9 R	6	5								1		
H 9 S	6	2	4									
J 3 L	1										1	
J 3 Y	2										2	
J 4 K	2				1						1	
J 4 M	1										1	
J 4 P	1										1	
J 4 V	1		1									
J 4 W	1										1	
J 4 X	2	1									1	
J 4 Y	1										1	
J 4 Z	1											1
未詳	62	4	3	4	1	3	6	2	1	5	5	27

注) FSA は forward sortation areas の略語で、郵便仕分区域。

とになる。これは全体176世帯中の19.9%、住所未詳62世帯を除いた114世帯中の30.7%を占める。

9区は「H 2」に2世帯、「H 3」に2世帯、「H 4」に2世帯、「H 7」に1世帯、「H 8」に7世帯、「H 9」に1世帯を含む。中央部か

ら西部に散在している。9区は「モンテリオール島中央から西にかけての区」とみなせる。

10区は「H4」に1世帯、「J3」に3世帯、「J4」6世帯を含む。ほとんどの世帯がサウス・ショア地区であり、10区は「サウス・ショアの区」とみなせる。

11区は「H3」が2世帯、「H4」「H8」「J4」が各1世帯、「未詳」が27世帯である。前述のように、11区には新来者が多いと考えられる。新来者には「移民」として来てまだ年数の浅い者の他に、留学者や海外駐在員などの身分での長期滞在者・短期滞在者も含まれていよう。こういう人々は「以前からの移民」に比べて流動性が高い。また、彼等の実際の居住地は、知己の近くに居を定める傾向があるとしても、広く散在している可能性が考えられる。それでありながら、こういう人々が「第11区域」としてまとめられているのは、直面する生活上の問題や、精神的ストレスの類似可能性を考えると、合理性があるように思われる。

以上の結果をまとめると表8の通り。

ここから言えることは、(1)モンテリオール韓人連合教会の信者世帯は、モンテリオール島中央より西側に比較的多く住むが、モンテリオール

島内外に広く散在している。(2)来住年度ないし、(移民か、駐在・留学かという)滞在理由別によって区域編成が行われているように窺える。この2点である。

「区域」と姓

モンテリオール韓人社会では初期移民からの世代深度は深くないので、当地での世帯分設はまだそれほど多くはないと推測される。ここで姓に注目するのは、同姓が誘い合って集まり、移民社会の一部を構成しているかどうか、という問題意識からである。この問題に対して区域会資料のみで、解答が得られるわけではないが、何らかの手がかりについて感触を探してみる。

ただ、資料の制約を予め断わって置かねばならない。「区域編成表」および『韓人会住所録』の姓名表記は、ハングル表記のみ、あるいはハングルとローマ字表記の併用であり、どちらにも漢字表記はない。漢字表記だと異姓と区別できるものが、同音のためハングル表記では異姓か同姓か区別できない場合がある。本貫の表記は両資料ではまったく見られないので、異本同姓の区別はつけられない。したがって、以下に抽出する「同姓」数は最大限の可能性としての数であって、同本同姓の数を示すものではない。

さて、「区域」別に男性が同姓である世帯数を見ると、1区(2/12)、2区(4/11)、3区(2;3;2/13)、4区(2/12)、5区(2;2/13)、6区(3;2;2/17)、7区(4;2/13)、8区(3;4;4;2/18)、9区(5;2;3/20)、10区(6/15)、11区(7;2;4/32)。

同様に女性が同姓である世帯数を見ると、1区(3;2/12)、2区(3;2/11)、3区(3/13)、4区(3;2/12)、5区(2/13)、6区(3;2/17)、7区(2;3/13)、8区(5;4/18)、9区(2/20)、10区(4;2/15)、11区(3;2;3;2/32)。

上の見方は、例えば男性の1区では全12世帯中の2世帯が同姓、3区では全13世帯中の2世帯、3世帯、2世帯がそれぞれ同姓となってい

表8 モンテリオール韓人連合教会の「区域」と世帯居住地域

区域番号	所属世帯の居住地域
1	モンテリオール島の西部
2	モンテリオール島の西部
3	モンテリオール島中央よりやや西側
4	モンテリオール島中央よりやや西側
5	モンテリオール島中央よりやや西側
6	モンテリオール島中央よりやや西側
7	モンテリオール島中央およびラヴァル島
8	モンテリオール島中央および東北にかけて
9	モンテリオール島中央および西にかけて
10	サウス・ショア
11	未詳

る。ここで確かめられるのは、全世帯の半数以上をある姓が占める事例はないということである。しかし、10区のように全15世帯中の6世帯が同姓という例などが見える。この6世帯間の関係はここではこれ以上のことは不明である。

女性の8区では20世帯中の5世帯、4世帯が同姓、10区では15世帯中の4世帯、2世帯が同姓となっている。従来の韓国家族研究では、女性の姓についてはほとんど注目して来なかった。しかし、姉妹関係を通じた協力などの関係が重要な機能を果たすことは指摘されているので、主婦の姓を対象とした分析も開拓する余地がある。

同姓出現組数（たとえば男性の1区は1、3区は3）の計は男性で24、女性で21と、男性の方で同姓である組数がやや多い。ところで、姓氏の数は男性で17種類、女性で18種類。ほぼ同数であることを考え合わせると、男性において若干同姓の結びつきが多い可能性が窺える。これについては、以下の資料から移民後の世帯分設が反映している数値であると思われる。

『1994年住所録』では子どもとして記載されているが、「1999年区域編成表」では夫婦として記載されている例が5例見える。これは、この間に彼らが結婚して新たな世帯を構え、同姓世帯を分出した事例と見られる。

以上の検討からは特に、同姓縁故で移民が集まるという現象を明確に抽出することはできなかった。ただ、その可能性は窺える。どちらかといえば、男性に傾斜した凝集の可能性である。

なお、「夫婦同姓」を連想させる組み合わせが全体で12組見える。韓国の法律では同本同姓婚が禁止されてきたが、現実には家族を設ける例が少なからずある。

わずか1例だけであるが、『1994年住所録』と「1999年区域編成表」で妻の姓が変わっている（名は同じ）例が見える。

「区域」と役員

「区域編成表」では各区域の最初に太ゴチックで1名、それに続けて中太ゴチックで男女各

表9 モンテリオール韓人連合教会の区域役員（1999年度）

区域番号	区域長の性別	他の役員	
1	m	A 2	p 1
2	m	A 2	q 2
3	m	B 6	r 3
4	f	C 5	a 2
5	f	C 5	a 2
6	f	B 6	s 6
7	f	E 7	t 4
8	f	F 8	f 8
9	f	G 10	u 9
10	f	G 10	g 10
11	m	H	E 7
計	11人	16人	

1名の姓名が記載されている（11区は例外）。太ゴチックは各区域の区域長で、区域内から出ている。区域長の性別は1・2・3区と11区は男性(m)、他は女性(f)である（表9参照）。10区の区域長を除き、全員が配偶者をもつ。区域長と他の役員は兼ねない。

表9で「他の役員」列の大文字は男性、小文字は女性⁽⁵⁾。男性の人数はAからHまで8名、女性が9名を数える。

ローマ字の後の数字は所属「区域番号」を表わす。11区のHは牧師で、所属区域はない。

Aとaは夫婦を表わす。夫婦はA a、F f、G gの3組。A aは夫が1区・2区を担当し、妻が4区・5区を担当している。二人の所属区は2区であるが、他区にも関わっている。F fは共に所属区である8区を担当。G gは夫が9区・10区を担当、妻が所属区の10区を担当している。各区域に区域長以外に、夫婦とは限らない男女1名ずつが充てられている。11区のみは男性2名となっている。

上述のようにHは牧師であり、またEは『嬉しい消息』に記事を執筆している長老である。sは『嬉しい消息』を編集している勸士である。長老・執事・勸士などの信者間の信仰の指導者である役職者の皆がこの役員に当たっている

のではないが、区域長が世話役とすれば、区域会信者の日常的な信仰生活、あるいは区域礼拝などの折りの相談役に当たるのが「その他の役員」であろう。区域会の役員が区域内の世帯員のみで構成されるのではなく、他の区域会とも繋がるような役員配置がなされている点に組織編成上の注目点がある。(続く)

附録 カナダの郵便コードシステム

日本の郵便番号は、最初の3桁(配達局番号)と後の4桁(以前は2桁。町域番号)から成っている。すべて数字を用いる。

カナダの郵便番号はアルファベットと数字の6桁から成っている。数字だけではないのでその全体を以下、「郵便コード」(postal code)という。たとえばカナダ国立切手収集センターの郵便コードは「B2G 2R8」である。最初の3桁(FSA)は<ローマ字+数字+ローマ字>の順、そして少し空けて、後の3桁は<数字+ローマ字+数字>で、これにより可能となる組み合わせの数は、数字だけ6桁よりはるかに多いが、日本の数字だけの7桁よりは少ない。

筆者の住んでいたウエストマウント市の郵便局、マギル大学最寄りの郵便局では、カナダの「郵便コード簿」が見当たらなかった。モンリオールの中央郵便局に行っても、販売用というの、無料で配付用というの無かった。利用者参照用さえも無かった。郵便コードを使っている限り、「郵便コード簿」はあるはずだと、窓口で尋ねると、ある電話番号を教えられ、そこに発注せよ、という。直接注文せよ、とのこと。そこで、言われたとおりに後日、電話で注文した。郵便ではなく。

送られてきたのは73枚の綴り1点であった。左上の一箇所にパンチで穴が空けられ、割ピン1本で綴じられている。割ピンを外すとバラバラになる。頁の数字は打たれていないし、各頁に著作権者が印刷されているので、本来バラバラにして使うように作られているらしい。

大きさはレター・サイズ(およそ縦28センチ、

横21.5センチ)でA4型よりはやや短く、幅が少し広い。大都市圏であるモンリオール、トロント、バンクーバーはもっと横幅の広い紙が用いられ、レター・サイズに折り込まれている。

用紙は、表紙・裏表紙は空色の厚手の紙、本体は白い画用紙。表紙には「地域コード配置指定者」「郵便コードプログラム」「1995年3月」「著作権:カナダ・ポスト・コーポレーション、1995年」⁽⁶⁾の記載がある。

表紙の次の1枚目はMAIL POSTEの伝票で、本体15ドル(カナダ・ドル)、連邦税1.05ドル、州税1.04ドルの計17.09ドルの価格明細が記載されている。伝票に記載されている品名はFSA MAPS OF CANADAとなっている。FSAは郵便コードの最初の3桁を指しており、forward sortation areas(配達仕分け地域)の略語である。フランス語ではRTAの略語となっている。この伝票発行者は「国立切手収集センター」の「切手収集サービス」⁽⁷⁾で、ノヴァ・スコシア州に事務所がある。念のため、最近(2002年1月)、インターネットでカナダ郵便のFSAを調べると、これをネット販売する業者が複数あり、半年に一度更新されるとしたり、年に一度更新されるとしたり、更新間隔はまちまちである。

2枚目から7枚目までは、A1AからY0BまでのFSA一覧表。

8枚目の表はカナダ全土の地図で、カナダ国土の東がAで、西に向かってYまで下る。このローマ字は概ね以下の州や大都市圏の範囲に対応している。郵便コードの最初の1桁である。

- A: ニュー・ファウンドランド
- B: ノヴァ・スコシア
- C: プリンス・エドワード・アイランド
- E: ニュー・ブランズウィック
- G: ケベック(東部)
- H: モンリオール大都市圏
- J: ケベック(西部)
- K: オンタリオ(オタワが含まれる)

L: オンタリオ (トロントの一部を含む)
 M: トロント大都市圏
 N: オンタリオ
 P: オンタリオ (トロントの一部, ハドソン湾沿岸を含む)
 R: マニトバ
 S: サスカチュワン
 T: アルバータ
 V: プリティッシュ・コロンビア
 X: 北西準州
 Y: ユーコン準州

ここでも見るように, アルファベット中, 使用されない文字がある。D, F, I, O, Q, U の 6 文字は使われない。その理由は確かめていないが, 一つには字形の相似による誤読を避けるためであろう。数字のみの 3 桁で分けられる場合数は $10 \times 10 \times 10 = 1000$ 通りであるが, アルファベットを組み合わせてることにより, $20 \times 10 \times 20 = 4000$ 通りの組み合わせが可能となる。

9 枚目以降のマップには, どの頁にも著作権表示があり, Postal Coding Division, Canada post, 1980 と印字されている。図により, その後の改訂が行われており, その注記も見える。各図名は「〔地名〕 Rural area codes」または「〔地名〕 Delivery area and forward sortation areas」となっている。マップには最初の 3 桁が地図上の区画表示に対応させて明示されている。各区画の境界線は道路である場合がほとんどで, 他に河川, 鉄道などである。

前述の郵便コード一覧表とマップを対照点検すると, マップには表示されていない郵便コードもある。

ところで, 後の 3 桁は道路で囲まれたブロック, あるいはビルなどで同一のコードを持っている。

郵便コードの下 3 桁は「郵便コード簿」を参照しても掲載されていない。モントリオールの街路には投函用の赤いポストと, 配達用の色違いの函が各所に見える。配達用の金属函にもポストの表示があるので, 郵便関係のものと分か

るが, 投函用の口が無く, 頑丈な鍵がかかっている。郵便配達人は大きな袋を片方の肩から下げ, 早足で歩いて担当区域を配達に回っている。郵便自動車がこの函にまとまった量の郵便物を配達し, 郵便配達人はこの函からそれを取り出して, 区域内を配って回る。この函ごとに, あるいは大口利用者ごとに下 3 桁のコードが付いているものであろう。

ここで思われることは, カナダの「郵便コード簿」は, 郵便を仕分けたり, 配達する人のために作成されているものであり, 郵便を投函する一般利用者には「自分で郵便コード」を調べて記入することを求めている, というシステムである。実際, 所番地から郵便コードは調べられない。

注

- (1) 通巻156号。ハングル誌で, 誌名は「가쁜소식」(Good Tidings)。この号の構成は, 表紙, 巻頭説教 (牧師。以下括弧内は執筆著), 論壇 (長老), 提言 (牧師), 随筆 (執事), 回顧 (教友), 干証 (信仰心の表明。青年), 書信 (青年), 区域 (執事), 宣教書信 (宣教師), 教会消息 [イベント等の予定案内, 関係者の動静報告] など全20頁。
- (2) 「アンバン」は韓国家用語で「内房」すなわち「主婦の部屋」を意味する。
- (3) 1999年の各区域・世帯の世帯員数が分かる資料は入手していない。
- (4) 附録「カナダの郵便コード・システム」参照
- (5) 大小の区別に他意はない。
- (6) Canada Post Corporation, March 1995.
- (7) このセンターでは, 企画切手を通信販売しており, そのカタログも同封で送られてきた。一度企画切手を購入すると, その後もしばらく定期的に切手等のカタログが送られてきた。Philatelic Service, National Philatelic Centre, 75 St. Ninian St., Antigonish, NS, B2G 2R8, CANADA. Fax : (902) 863-6796.

参考文献

Canada Post Corporation, Allocation of Area Code Designators, Postal Code Program, Canada Post Corporation, March 1995.

モンリオールの韓人教会（Ⅱ）

チョン・ヒス, イム・ソンスク Chung, Joseph H. and Yim, Seong-Sook 共著 1993『ケベック移民生活に必要な情報』（韓国語・フランス語）モンリオール地区韓人会

モンリオール韓人会 The Korean Community of Greater Montreal Inc. (Communauté coréenne du grand Montréal) 1994『94-95年度 モンリオール韓人住所録』（ハングル・英仏漢字混用），モンリオール韓人会。（1994年8月序記年）

李光奎 Lee, Kwang-kyoo 1989『在米韓国人－総体的接近』（韓国語）一潮閣

松本誠一 Matsumoto, Seiichi 2000「モンリオールの韓人墓碑銘」『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』第34号, pp.59-80。

松本誠一 Matsumoto, Seiichi 2001「モンリオールの韓人教会（Ⅰ）」『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』第35号, pp.56-70。

モンリオール韓人連合教会 The Montreal Korean United Church 1999『嬉しい便り』（韓国語）通巻156号，モンリオール韓人連合教会

モンリオール韓人連合教会 The Montreal Korean United Church 2000『嬉しい便り』（2000年送年特集。韓国語）通巻175号，モンリオール韓人連合教会

モンリオール韓人連合教会20年史編集委員会 The Montreal Korean United Church 1986『モンリオール韓人連合教会20年史』（韓国語）モンリオール韓人連合教会

付記 2002年1月よりモンリオール島の市町は「合併」して，‘Megacity’モンリオールに変わった。本稿中で言及した「ウエストマウント市」も新しいモンリオールの一部となった。